

育成だより 2

立教 180 年 4 月 16 日発行
編集 / 芦津大教会育成部

特集 ①教会長子弟育成者研修会 ②あしっスプリングフェスタ



《親のことば》

15 歳は、思召に適った心を遣い、 責任ある行動をとることができる

15 歳からは、その人自身の心遣いのあり様が、そのまま身の周りに現れてくるといことであります。つまり、15 歳という年齢は、親神様、教祖の思召を思案し、理解できるまでに成長したということであり、思召に適った心を遣い、責任ある行動をとることができる年になったということでもあります。

(立教 170 年「春の学生おぢばがえり」における真柱様お言葉より)



すべての子弟を道につなぐため まずは自分の足元を見つめよう

立教 180 年 3 月 24 日 於：大教会

3 月 24 日、大教会で開催された「教会長子弟育成者研修会」。ご本部より打ち出された「教会長子弟育成プログラム」を全教会に浸透させ、心一つに教会長子弟の育成・丹精に励むための研修会です。

この研修会は本来、全教会長夫妻、後継者夫妻が対象ですが、芦津大教会の場合は教会が全国各地に分布し、1月の年頭会議後、再び全教会長夫妻が一堂に会するこ

とが難しいため、まずは直属教会長夫妻、後継者夫妻、大教会在籍者、直属から選任されたプロジェクト担当者を対象に行い、その後、それぞれの直属教会で同様に研修会を開催することとなりました。

まずは我が身を振り返る

開講の大教会長様のご挨拶では、「なぜ、教会長子弟の育成なのか」ということについての丁寧な説明がありました。その上で、現在の

教会と教会長子弟の実情をしっかりと把握し、道から離れようとしている子弟を繋ぎ止めるために、まずここにいる者がしっかりと心を砕いて欲しいと話されました。

続いて、本部の育成プロジェクト事務局が作成したビデオ2本を視聴。「教会長子弟を積極的に育てよう」では、今回のプロジェクトの意義が丁寧に説明され、「座談会・すべての教会長子弟を道に繋ぐ」では、5人の教会長、会長



大教会長様のお話



ねりあいの様子。まずは、教会長子弟育成における問題点を列挙し、グループ内でその解決のヒントを探る。



課題

- 教会長子弟が道につながらない

対策

- 子弟の現状を把握し、周囲と情報を共有
- 教会を挙げて子弟の育成をサポートする

夫人が、自らの子育て体験などを基に育成について語りました。

ねりあいを通して

休憩をはさんでねりあい。テーマは「なぜ教会長子弟が道につながらないのか」。今回は「短冊分類法」という手法を用いて行いました。まず「教会長子弟が道につながらない理由」を一人ひとりがカードに書き、班内で順番に発表します。続いて、全員のカードを3～4種類に分類し、「教会長子弟がつながらない」具体的な理由を共有します。それぞれがカードに問題点を書いて分類することで、現在の教会と教会長子弟の実情をしっかりと洗い出し、共有することが目的です。

その上で、「どうすれば子弟が

道につながるのか」について、体験談などを含め、活発な意見交換がなされました。

今後は各直属で開催を

加世田育成部次長が、直属での開催について説明。4月～7月にかけて、部内のある直属教会で同じ研修会の開催をお願いしました。必修プログラムは、育成責任者（直属教会長）の話、ねりあいです。また今回視聴したビデオと、大教会長様のお話（ビデオか音源）も利用できます。

最後に山田育成部長が大教会の「3カ年の取り組み」を発表。3年間と仕切って、すべての教会が育成体制の基盤を作り、子弟育成の機運を高めていくための具体的なポイントを説明しました。

○「本気で子弟育成に取り組まねば、という気持ちになりました。直属開催をどう進めればいいのか、方向性が理解できました。」（直属担当者）

○ねりあいでは、経済的な問題など、教会のいろいろな問題が出てきましたが、こうした話は今まで誰にもしたことがなかったので、いい機会になりました。これをプラスの方向に変えていければと思います。」（教会長夫人）

○「ねりあいでは、さまざまな立場の方から意見を聴くことができ、参考になりました。今日は直属担当者も一緒に参加しているので、早速、直属開催の相談を始めます。」（教会長）



山田育成部長が3カ年の取り組みを発表

芦津大教会 3カ年の取り組み

①全教会の育成体制の構築、整備

すべての教会で育成の機運を高め、育成体制の基盤を作る
教会長夫妻自らが、自分の通り方を振り返る

②既存の活動への参加促進、参加者増加

新たな行事を作るのではなく、既存の行事に参加を促す
教会長子弟は必ず参加するよう、積極的に声をかける

③おぢば管内学生の丹精

管内学校への進学を促し、教えに基づく教育を受けさせる
学生会活動などで同じ立場の仲間との交流を図る

④重点的に推進する項目

8月大教会月次祭に教会長家族が揃って参拝する
教会を拠点としたファミリーの集い、おとまり会の開催

実行

- 教会内の育成意識の向上
- 「3カ年の取り組み」実行

②あしっスプリングフェスタ

若者たちが躍動する春！ お道の将来を担う 子供たちを育てよう



3月26日～31日は、春の若年層育成期間「スプリングフェスタ」。未来のようばくたちが、本部、大教会の行事に参加し、お道を通る仲間との絆を深め、信仰の喜びを感じる春を有意義に過ごしました。

春の学生おちばがえり（3/28 学生会）

芦津学生会は、3月26日から28日まで「芦津直属隊」を結成し、18名が参加しました。

今年は、詰所で宿泊していた北海道教区学生会との交流会が実現。26日夜、大広間で夕づとめ選考をした後、レクリエーションゲームなどで新たな出会いを楽しみました。

28日は、本部中庭で「春の学生おちばがえり」式典に参加。真柱様のお言葉を胸に、今後の活躍を誓い合い、その後の直属アワーでは、大教会長様より「陽気ぐらしの実践」

についてのお話。若者たちは親の声を胸に新たな一歩を踏み出しました。



北海道教区学生会との交流会



前夜祭ではスティック春巻きを出店



直属アワー 大教会長様よりお話

わかぎの集い（3/28～31 中学生）



室内オリンピック



ウォーミングアップ



おつとめ練習



ひのきしん



スポーツゴミ拾い



ひのきしん

おつとめ練習に取り組む

「わかぎの集い」は少年会活動の芯となる中学生を対象とし、芦津の中での仲間作りと、信仰の喜びを感じることでできるプログラムを実施します。特に今年は、少年会総会の座りづとめを勤めることになり、おつとめ練習に多くの時間を費やしました。また「恋ダンス」を練習し、総会のお楽しみ行事で披露しました。



恋ダンスの練習



総会準備ひのきしん



WAKAGI GO!（屋外レクリエーション）



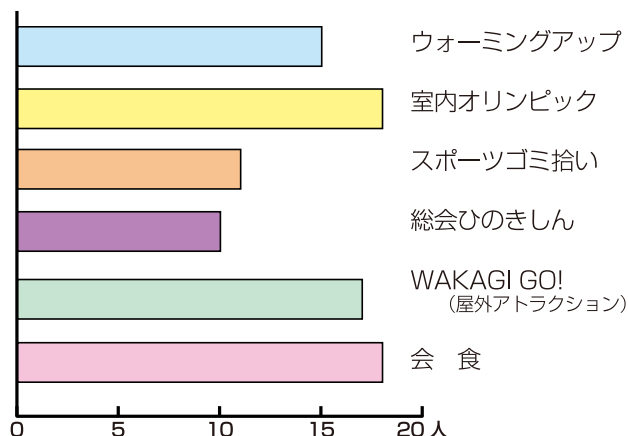
会食（1、2年生）



会食（門出生）

わかぎの集いのアンケートより

○楽しかったプログラムは？



○感想

- ・初めての参加で最初は怖かったけど、だんだん楽しくなった。(中1女子)
- ・2回目の参加で、1回目よりたくさん友達ができた。(中3女子)
- ・スタッフが積極的に話しかけてきてくれて、嬉しかった。(中3男子)
- ・室内オリンピックで、班のみんなで協力できて、とても楽しかった。(中2女子)
- ・前回よりもたくさんの人としゃべれてよかった。(中2男子)

少年会芦津団総会（3/31 少年会）

少年会総会では、少年会員がおつとめ衣を身につけ、大教会の神殿でおつとめを勤めます。
今回は、総会に向けておつとめ練習に取り組んでいる隊（教会）にスポットを当てました。



稗島隊

毎年3月に教会でおつとめ練習をする稗島隊。昨年は「教会おとまり会」を開催して練習しましたが、今年は都合がつかず、1日だけの練習となりました。最初はおてふりと鳴物に分かれ、続いて合同練習。「おつとめで信仰の喜びを感じてもらいたい」と、指導にも熱が入ります。

大島隊は、おちばや関西在住の方が多いため、26日の本部月次祭祭典後、詰所修養科棟の修練場を借りて、おつとめ練習を行います。仮設の上段を利用してのおつとめ練習は、本番ながら。初めて顔を合わせる子供もいて、この練習が子供同士のつながりとなり、本番でも心を合わせることに繋がります。



大島隊



CLOSE UP!

成人門出式で大人の信仰者に仲間入りを

POINT 「自分が喜ぶ」→「人に喜んでもらうことを喜ぶ」

15歳は信仰を切り替える大切な時期。少年会総会式典終了後、中学を卒業する門出生たちは、対面所で大教会長様よりお言葉を頂きます。これからは婦人会、青年会の一員として「自分にできるおたすけ」を目指します。





5月23日(火) 縦の伝道講習会

少年会

- 場所 芦津大教会
- 講師 少年会本部副委員長
西田伊作先生
- 趣旨 縦の伝道の理念と少年会活動の意義、
活動方針の徹底を図る。
- 受講対象 各隊育成会長、育成会員



5月28日(日) 第4回少年会ドッジボール大会

少年会

- 場所 天理大学第1体育館
- 申込締切 5月23日
- 1チーム8名以上(小学校低学年の部、小学校
高学年の部、中学生の部の3部門)



6月23日(金) 学生層育成者講習会

学 担

- 場所 芦津大教会
- 講師 本部学生担当委員会副委員長
福江弘一先生
- 趣旨 教会内に学生層育成の気運を高め、育
成体制の強化を図り、学生一人ひとりへの幅
広い声かけを目指す。
- 受講対象 教会長夫妻、各部各会担当者、学
生層育成に携わる方



5月26日(金) 母親講座

婦人会

- 場所 天理市民会館
- テーマ「教祖から教えられた夫婦像」
- 講師 山本 徹先生(洲本部属 サンマテオ教会長)
- 受講費 無料



4月30日(日) 管内学生親睦会・新入生歓迎会

学生会

- 場所 芦津詰所
- 対象 芦津につながる管内高校、大学、専門学校生
- 内容 大教会長様お話、青年会・女子青年の時間、
詰所の利用についての説明、会食など
- 参加費 無料



人を育てる「座右の書」

人を導くために参考となる書籍を紹介します



●優しさと勇気の育て方／水谷修著 ●日本評論社 ●1,512円(税込)

「ありがとう」「ごめんね」「いいんだよ」
これは、教え子たちが水谷先生から多くかけられ
た言葉だそうです。教え子たちは今、家庭や会社
でこれらの言葉を使っています。みんなが笑顔で
優しくなる魔法の言葉として。

社会で本当に必要な「生きる力」が、近年だんだ
んと弱くなっています。「笑顔を配ろう」「感情をきち
んと外に出そう」「まずは、自分から変わろう」など、
30年以上子どもや、その親とのかかわりで《夜回り
先生》が体得した「生きる力をつけ、幸せな人生を
送るためのアドバイス」を掲載しています。

①教会長子弟育成者研修会 ②あしつスプリングフェスタ

あしつ 育成だより 2

立教 180年 4月16日発行
編集 / 天理教芦津大教会育成部